

## ケーブル巻取り器

# CMR-200

このたびは、デンサン ケーブル巻取り器 をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、使用上の注意、使用方法を確認のうえ、正しく安全にご使用してください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

- 特長**
- 電線がくずれることなくきれいに巻き取れる
  - ラインスケールカウンター LSC-18N, LSC-22Nと併用することにより電線を測長しながら巻き取ることができる



### 安全上のご注意

- ご使用前に各部に損傷がないか確認し、損傷がある場合は使用しないでください。
- 当社に無断で改造、分解をしないでください。
- 本製品は電線を巻き取る製品です。他の用途には使用しないでください。
- ご使用する際、周りの状況を確認してください。事故やけがの原因になります。
- しっかりと固定した状態で使用してください。けがや事故、本製品の破損、損傷の原因になります。



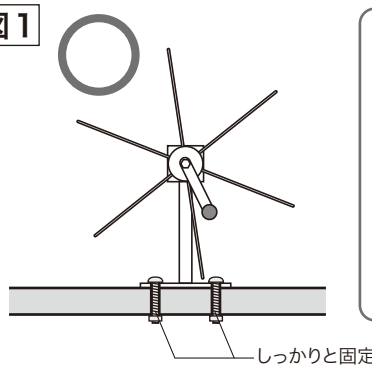
### 使用上のご注意

- 定期的に可動部分に潤滑油を塗布してください。
- 平坦な場所で使用し、各部の締付状態を確認したうえで、転倒しないよう固定してください。
- 電線を巻き取る時、ハンドルを勢いよく回さないでください。
- 巻き取る電線は、負荷がかかった状態で巻き取らないでください。破損、損傷の原因になります。
- 羽根を広げる、縮める際は操作を慎重に行ってください。破損、損傷の原因になります。
- ハンドルは最後までしっかりと締め込んでください。
- 本製品に電線を巻き取った状態のまま放置しますと、電線の重さで本製品が損傷する恐れがあります。巻き取った電線は必ず抜き取ってください。

## ■設置方法

本製品は、必ず天板などの水平面やスタンドに垂直に固定した状態で使用してください。壁などに横向きに取り付けて使用しないでください。また水平面に固定する場合は、ボルトなどでしっかりと固定してください。図1

図1



## ■使用方法 (裏面の使用上のご注意も必ずお読みください)

- ① 縮んでいる羽根を押し広げてください。このとき、羽根と固定金具に干渉している場合は慎重に広げてください。図2
- ② ハンドルを差込み、時計方向に回し、しっかりと締め込んでください。図3
- ③ 電線を時計方向に巻き取ります。このとき、巻き取る電線に負荷がかかった状態で巻き取りますと羽根部分に荷重がかかり破損、損傷する場合があります。巻き取る電線は、たるませた状態を維持してください。電線の状態を確認しながらゆっくりとハンドルを回して巻き取ってください。
- ④ 電線を取り外すときは、まずハンドルを反時計方向に回して取り外します。次に羽根を縮めてから束ねた電線を抜き取ります。このとき、電線が羽根に引っかからないように注意してください。
- ⑤ 羽根を縮めるときは、慎重に操作してください。

図2

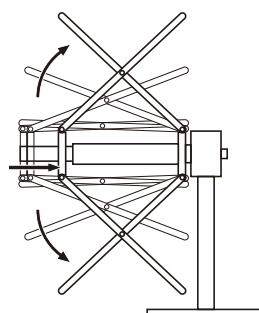
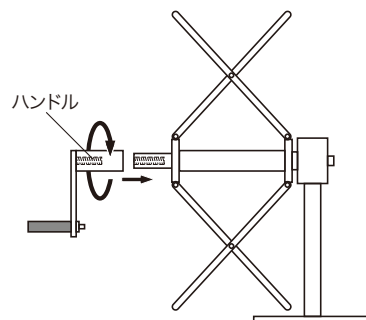
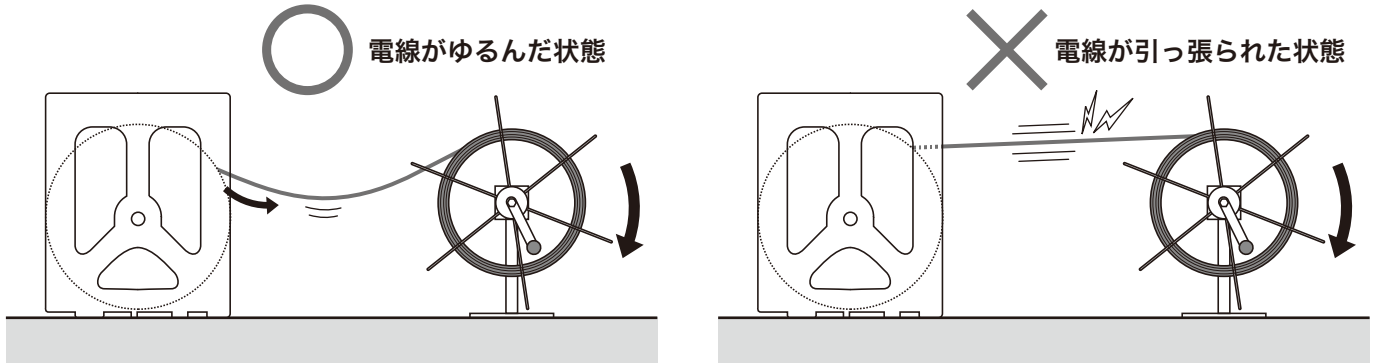


図3

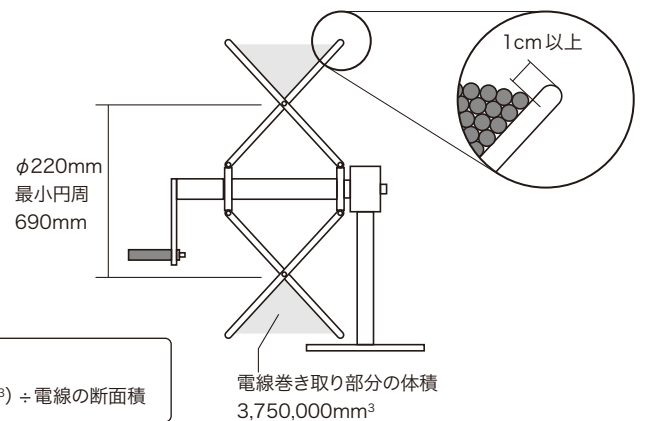


## ▲ 使用上のご注意

- ① 電線は、負荷がかかった（引っ張られた）状態では巻き取らないでください。必ず電線がゆるんだ状態で巻き取るようにしてください。また、からまった状態の電線を無理に巻き取ると、本製品の破損、損傷の原因になります。

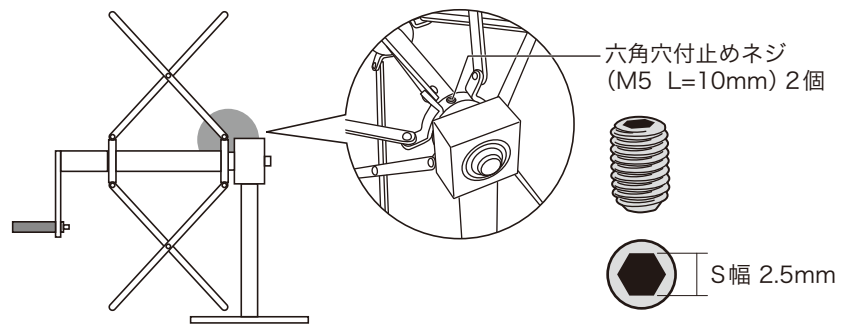


- ② 巻き取れる電線の長さは、右図をご参照ください。また、巻き取った電線が、羽根の先端から1cm以上内側に収まるように巻き取ってください。これ以上電線を巻くと、羽根の先端が電線に干渉し、電線の損傷、本製品の破損、損傷の原因になります。また、巻き取った電線がスムーズに抜き取れなくなります。

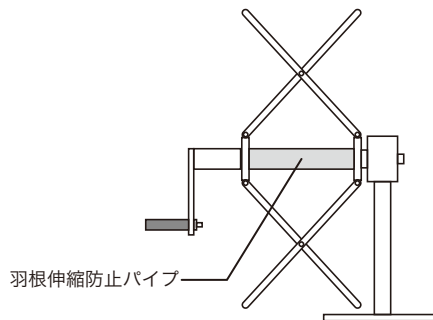


巻き取れる電線の長さの目安（単位mm）  
＝電線巻き取り部分の体積（3,750,000mm<sup>3</sup>）÷電線の断面積

- ③ 羽根の根元にある六角穴付止めネジ2個を定期的にしっかりと締め付けてください。このネジによって羽根とシャフトが固定されており、このネジがゆるむとハンドルを回しても羽根が回転しない場合があります。



- ④ シャフト部の羽根伸縮防止パイプは絶対に取り外さないでください。パイプを外した状態で電線を巻き取ると、羽根と本体が干渉し、羽根が破損する原因となります。



- 仕様 ●サイズ：収納時 幅265×奥行100×高さ250mm  
使用時 幅325×奥行350×高さ380mm  
●質量：1.8kg